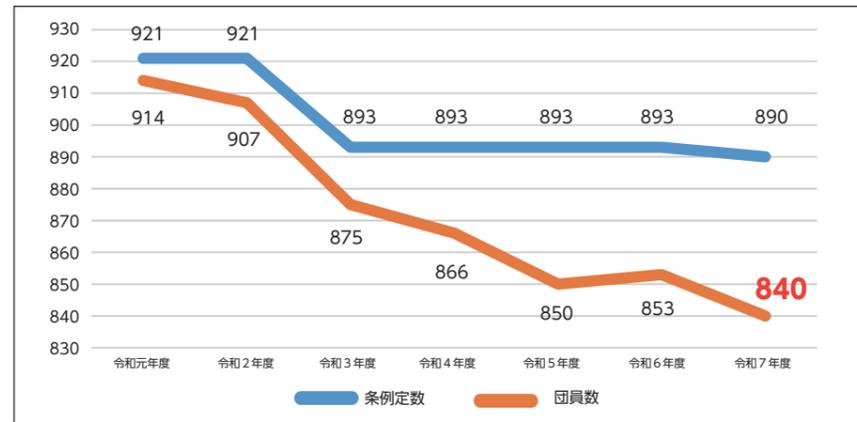


▶ 団員数比較表

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
全国	834,474	819,373	805,413	784,360	764,958	749,680	735,743
兵庫県	41,805	41,132	40,484	39,695	38,654	38,014	37,325
西脇市	914	907	875	866	850	853	840

(人)

▶ 西脇市消防団員数・条例定数の推移グラフ



令和7年度
操法大会の様子



【特集】

知ってほしい 消防団のいま

私たちの暮らしのすぐそばで、安全、安心を支え続けている消防団。本市では現在、消防団の団員数減少という課題に直面しています。このままでは、いざというときに十分な活動ができなくなる恐れがあります。その存在と役割を改めて知り、消防団の重要性について考えるときが来ています。

▼問合せ 防災安全課（市役所内線2011）

消防団とは

消防団とは、消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関です。消防署は専門的に消防活動などを行う常勤職員による機関である一方、消防団は本業を別に持つ一般の住民で構成されており、消防団員は非常勤特別職の地方公務員です。地域の実情を把握しており、災害時には迅速に現場へ駆け付け、地域の防災を支えています。



消防団の必要性

消防団は、火災や台風、大雨などの災害が起きたとき、地域でいち早く動いてくれる身近な存在です。地域に根差した消防団だからこそ、状況に応じた素早い対応が可能です。また、平時は訓練や設備点検などを通して、地域住民が安心して暮らせるよう備えています。大きな災害が増えている近年において、被害が広範囲に及ぶ場合、消防署や行政の力だけでは地域住民を守ることができません。そんなとき、地域のことをよく知る消防団の存在が重要です。

また、消防団員は仕事や家庭を持ちながら活動を続けています。急な出動で家族に負担をかけることもあるため、家族の理解と支えがあってこそ活動を続けることができます。つまり、地域の安全を守るためには、家族や地域の協力が不可欠であり、その上で、安全、安心なまちづくりにかかせない消防団員は私たちにとってなくてはならない存在となっています。

地域を守り 続けるために

そんな私たちの暮らしを守る消防団が危機を迎えています。近年、全国的に消防団員数が減少しており、団員確保が大きな課題となっています。本市においても上のグラフのように、年々団員数が減少し、欠員が生じています。

このまま消防団員数の減少が続くと、火災発生時の迅速な初期消火や、消防署員の後方支援が十分に行えなくなる恐れがあります。また、消火栓や消防機材の点検、地域行事の支援といった、日々の安全、安心を支える活動にも手が回らなくなり、まちの防災力が低下してしまいます。

消防団は災害時だけでなく、日常の中で地域を守る役割も担っています。団員が減ること、一人一人の負担が大きくなり、活動の継続が難しくなるという課題も生まれます。地域の安全をこれからも守り続けるためには、地域全体で消防団を支え、次の担い手へつないでいくことが大切です。

消防団の活動紹介

かけがえのない存在

消防団は災害から地域を守るため、災害時だけでなく、日頃からさまざまな活動に取り組んでいます。

消防団が行う訓練や点検は、いざというときに私たちの命や暮らしを守るための大切な備えです。市消防団消防操法大会は、災害時に連携し、迅速に活動するための訓練の成果を競う場です。祭りやとんどの地域行事への参加は、消防団の本来の任務ではありませんが、地域貢献として続けられてきました。行事の場で地域住民と顔を合わせることで、協力し合える関係が築け、災害時の避難誘導や安否確認につながっています。

まちを支える団員に聞いてみよう



消防団って大変そう、どんな感じなんだろう——。消防団に関心があっても不安な方は多いのではないのでしょうか。

今回、3人の消防団員に活動することのやりがいや大変なことなどを率直に話してもらいました。



第7分団 黒田部
森脇 浩章 さん

なじむ近道は消防団
にあった

5年前に加西市から転入し、「地域になじむ近道」と勧められ入団しました。消防団は怖い印象でしたが、実際は地域交流ができ、防災知識を得られる良い場所だと実感しました。特にまちのことを深く知れたこと、団員同士で仲良くなり、地域ともつながりを持たせたことが大きな収穫です。

地域行事での警備や交通誘導は特に大変ですが、家族や知人を守る責任で活動しています。今後も可能な限り地域貢献をしていきたいです。



▲子どもとサッカーを楽しむ森脇さん



第6分団 岡崎部
森川 元良 さん

「パパ、カッコいい！」
その声が原動力

仕事が忙しく参加できるか不安でしたが、団員の「無理せんでいいよ」という一言に背中を押され、入団を決めました。幼い子どもが3人いるため、入団後に妻と話し合い、理解をしてもらいました。

今では家族が操法大会へ応援に来てくれます。消防服姿の私を見て「カッコいい」とはしゃぐ子どもたちの声が、活動の原動力となっています。今後も仕事と家庭を大切にしながら、地域に貢献していきたいです。



▲家族だんらん中の森川さん



第3分団 高田井部
中道 英 さん

「ありがとう」を力に
少しでも役に立ちたい

友人から誘われたことをきっかけに入団しました。休日の消防団活動が負担に感じることもあります。活動を通じて防災に関する知識や地元への愛着は増えています。

住宅火災が発生したとき、何か役に立てることはないかと考え動けるようになりました。地域の方から「ありがとう」「お疲れさん」と声を掛けてもらえることが、やりがいにつながっています。今後も少しでも地域を支えられるように活動していきます。



▲趣味のゴルフを楽しむ中道さん



進む改革

活動回数の軽減

消防団では、団員の負担軽減と持続可能な体制づくりを進めています。まず、毎年開催していた市消防団消防操法大会は、令和5年度から2年に1回へと見直しました。これに伴い、大会に向けた練習は分団大会の1カ月前から、10回2時間程度で回数はおおむね10回と定め、負担を軽減。私生活や仕事との両立がしやすい環境になっています。

活動しやすい環境を

また、今年度は消防団活動への理解を深め、より身近に感じてもらうと、操法大会に家族が応援できるギャラリ―席を設置。子どもたちも楽しめるよう、西脇消防署の消防車両の展示や防火服の着衣体験なども実施しました。

さらに、**団員の思いを活動に生かすため、昨年度から団員と団幹部による意見交換会を実施し、時代にに応じて変わらうとしています。**引き続き、より活動しやすい消防団の環境づくりを進めます。

子ども誰でも通園制度開始

春から

おうちで子育て中でも、園を利用できます

4月から、在宅で子育てをしている世帯のお子さんが、保護者の働き方に関係なく、認定こども園などを利用できるようになります。

同じ年頃の子どもたちと遊び、集団の中で過ごすことで、家庭だけでは得られない経験を重ね、子どもの健やかな育ちを支えます。

また、保護者は保育士に日頃の子育ての悩みや不安を相談することもできます。利用の流れなど詳しくは市ホームページをご覧ください。

- ▶対象 (①②いずれも該当する方)
 - ①生後6ヵ月～満3歳未満
 - ②こども園などに在籍していない



▶利用時間・利用料金

月10時間まで (2時間30分/回を毎週)、料金は各施設で設定

※園によって、受け入れ年齢、曜日、時間が異なります。詳しくは市ホームページで。

▶申請・問合せ

幼保連携課 (市役所内線1162)



市からの大切な情報は伝わっていますか

市では、広報紙やホームページ、防災行政無線、メール、SNSなど、さまざまなツールで最新の情報が届くよう、誰もが理解しやすいような情報発信に努めています。情報は目で見たり耳で聴いたり、さまざまな形で受け取ることができます。

▶問合せ 秘書広報課 (市役所内線3051)



誰にもやさしい広報に取り組んでいます



目で見える
主な情報

広報にしわき=UD (ユニバーサルデザイン) フォントを採用
防災行政無線=メールでも配信
ホームページ=やさしい日本語のページの公開、多言語に対応



耳で聴く
主な情報

広報にしわき、議会だより=声の広報グループやカナリヤ友の会の皆さんが情報を音声で伝えています。詳しくは社会福祉協議会 (☎22-5400) へ。

防災行政無線=音声で配信
ホームページ=音声読み上げに対応

団長が語る—消防団への思い—



市消防団

団長 藤原 久和 さん

縁の下で支える誇り

消防団は地域の皆さんにとって日常ではあまり認識されない存在かもしれませんが、火災や災害が起きたときには地域の安全を守るため迅速に行動する、なくてはならない組織です。また、地域行事の警備、交通誘導など、さまざまな場面で皆さんが安心して過ごせるよう活動しています。目立たず縁の下の力持ちとなり、被害の拡大を防ぐことが私たちの最大の使命です。

団員が現場で見せる「地域を守る」という強い思いは、多くの人に安心感を与えています。私はその思いに深く感謝しています。また、活動に理解と協力をし、支えてくれ

ている団員の家族や関係者にも感謝の気持ちが尽きません。

人口減少が進んでも災害が減ることはないでしょう。団員数が多いほど助けられる人も増え、より地域を守ることができます。力を貸してください。人がいれば、本当にありがたいです。仲間とともに、まちを支えていきましょう。



団員になって

一緒にまちを支えませんか

消防団は、特別な経験や体力がなければできないものではありません。仕事や家庭と両立しながら、仲間とともに地域の安心を守る活動です。訓練や防災活動を通じて得られるのは、知識や技術だけでなく、人

とのつながりとやりがいがあります。あなたの少しの勇気が、まちの未来を守る力になります。まずは一歩踏み出してみませんか。気軽にご連絡ください。

▶問合せ 防災安全課 (市役所内線2011)

西脇市消防団のQ&A

①

仕事とプライベートと両立できる？

団員の多くは仕事を持つ人たちです。職場や家族の理解と消防団の方針から無理なく両立できます。

②

団員同士の雰囲気はどんな感じ？

風通しの良い組織づくりが進んでいます。共通の目的を持つ仲間と世代を超え交流できることが魅力です。

③

活動に対する報酬や手当はある？

年額報酬や火災、風水害の災害出動に応じた手当て、活動中の負傷を補償する制度などがあります。